接続・設定ガイド

液晶カラーテレビ

形　名

ティー　シー　　ビー イー
2T-C42BE1

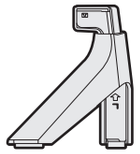
・本書は、基本的な接続と設定について説明しています。
基本的な操作方法は**「取扱説明書」(別冊)**をご確認ください。
・本機の詳しい説明は**取扱説明ガイド（Webで確認）**をご確認ください。（**取扱説明ガイド（Webで確認）**のリンク先については、**「取扱説明書」(別冊)**をご覧ください。）

もくじ

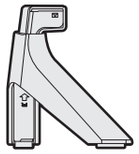
付属品を確認してください……1
1 置く場所を決める……2
2 スタンドを取り付ける……3
3 リモコンの準備と使いかた……4
4-1 アンテナをつなぐ……5
4-2 レコーダーなどの外部機器とテレビを接続する……7
5 miniB-CASカードを挿入する……9
6 電源コードをつなぐ……10
7 「かんたん初期設定」をする……11
8 放送が映らないときは……14

付属品を確認してください

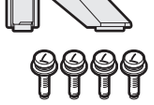
・スタンド（L）×1



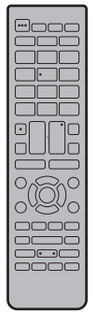
・スタンド（R）×1



・スタンド取付ネジ ×4



・リモコン × 1

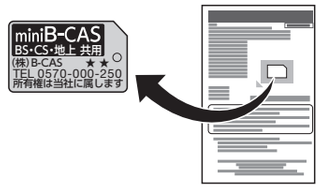


・リモコン用 単４形乾電池 ×2

・取扱説明書 × 1
・接続・設定ガイド（本書）×1
  ・当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
  ・This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
・保証書 × 1

・miniB-CAS カード× 1

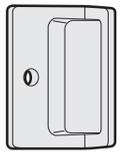
miniB-CAS カードの台紙



（2019年８月現在）

・開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

・miniB-CASカード挿入口カバー×1



・カバー専用ねじ× 1

壁掛金具やシステムラック別売品

・液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

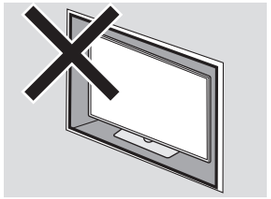
No.	品　名	形　名
1	壁掛け金具	AN-130AG1
2	システムラック	AN-65SR3

・本機に適合する別売品が新たに追加発売されることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。
ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。
（2019年８月現在）

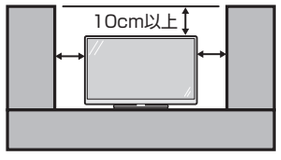
Printed in China
TINS-H262WJZZ
19P07-CH-NI

1 置く場所を決める

・本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。（別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。）
• 以下のような設置のしかたをしないでください。
  ・風通しの悪いところに入れない
  ・密閉した箱に入れない
  ・じゅうたんや布団の上に置かない
  ・布などをかけない
  ・極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない（使用温度 0℃～ 35℃）
  ・湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない
・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。



・本体の左右及び上部はそれぞれ 10cm 以上のスペースを空けてください。



エアコンのすぐ下や加湿器の近くなど、水滴のかかる場所への設置はしない

・水滴が落ちて内部に水が入ると、火災・感電・故障の原因になります。
・エアコンの吹き出し口からは、１m以上離して設置する事をおすすめします。

設置の際には以下の点をお守りください。
・傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
・持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
・台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、転倒しにくい台をお使いください。
・キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。

設置後は転倒防止を必ず行ってください。
・転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

⚠ 注意

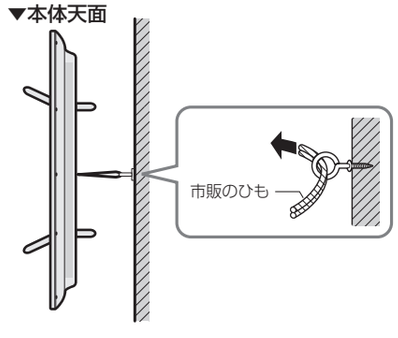
・地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
・転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

転倒防止のしかた

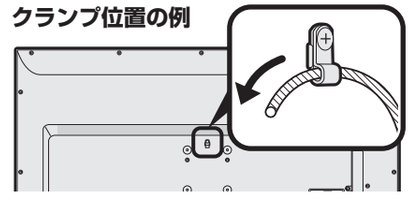
1 壁または柱に、市販のヒートン（ひもがはずれない形状のもの）を取り付ける
  ・取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。
  ・背面のクランプの穴の内径は 4mm です。内径の太さにあったひもを使用してください。

2 クランプと、壁または柱に取り付けたヒートンの穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する

▼本体天面



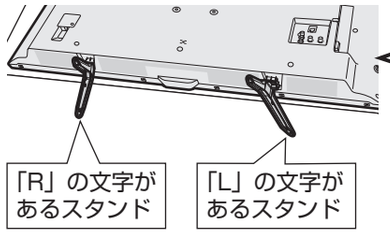
クランプ位置の例



2 スタンドを取り付ける

ディスプレイ部にスタンドを取り付ける

1 ディスプレイ部にスタンドを取り付ける



◇ ご 注 意 ◇
- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

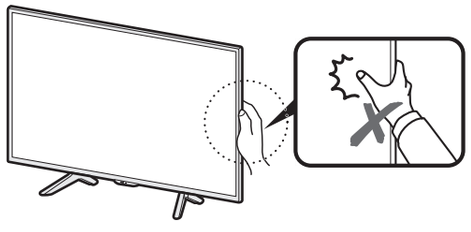
ネジは JIS2 番のドライバー（市販品）を使って、しっかりと締め付けてください。
電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは 1.5N.m（15kgf.cm）に設定してください。

◆ 重 要 ◆
- 必ず2人以上でスタンドの取り付けを行ってください。

以上でスタンドの取り付けは完了です。

テレビ本体を起こすときは

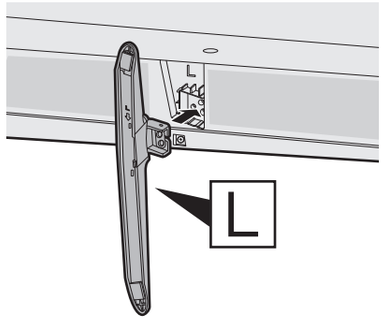
- テレビ画面を指で強く押さないようにご注意ください。



①テーブルを準備して、ディスプレイ部を寝かせる

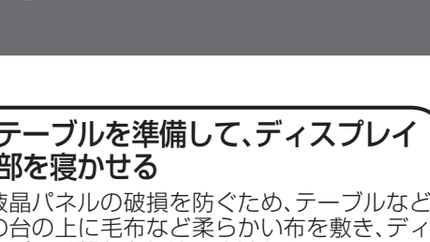
- 液晶パネルの破損を防ぐため、テーブルなどの台の上に毛布など柔らかい布を敷き、ディスプレイ部を寝かせてください。

②付属のスタンドを奥まで差し込む



③付属のスタンドネジ2本で左用スタンド（L）を固定する

- JIS2番のプラスドライバー（市販品）を使用します。
- スタンドが動かないように支えながらネジを締めてください。



④もう一方のスタンド（R）も同じように固定する

スタンドを取りはずすときは

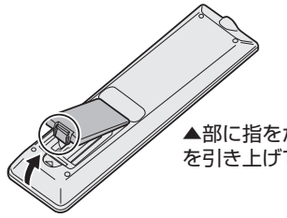
- 本機のスタンドを外すときは、「スタンドを取り付ける」の逆の手順でスタンドを取り外してください。
- 液晶画面の破損を防ぐため、テーブルなどの台の上に毛布など柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせてください。

◆ ご 注 意 ◆
- 本機を立てた状態でスタンド取付用ネジをはずすと、本機が転倒する可能性があり大変危険です。

3 リモコンの準備と使いかた

◆ リモコンに乾電池を入れる

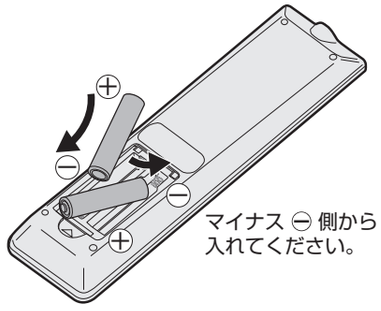
1 リモコン裏側の電池カバーを開ける



▲部に指をかけカバーを引き上げてください。

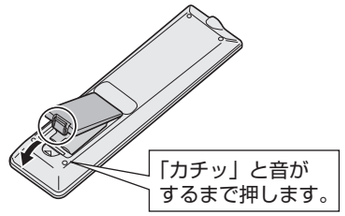
2 付属の単4形乾電池を入れる

- 乾電池が浮かないよう、しっかりと奥まで入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は、2 本とも同じ種類を使用してください。



マイナス ⊖ 側から入れてください。

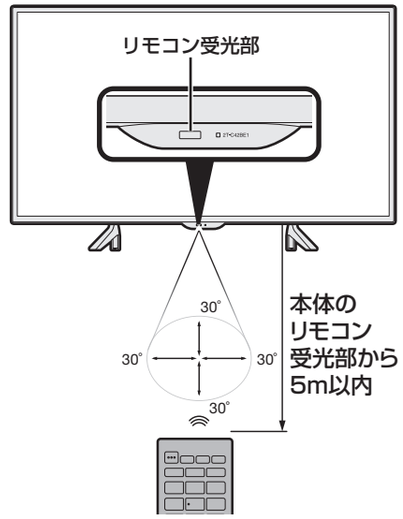
3 電池カバーを元どおりに閉める



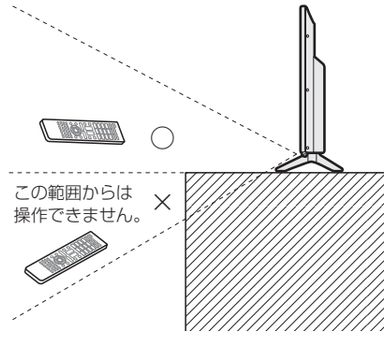
「カチッ」と音がするまで押します。

◆リモコンで操作できる範囲

- リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に1個のリモコンボタンを押してください。



設置している台とリモコン操作の位置により、動作しないことがあります。



ご注意

画面下の中央付近に、ぬいぐるみなどの小物を置かないでください。
リモコン受光部の妨げになり、動作しにくくなることがあります。

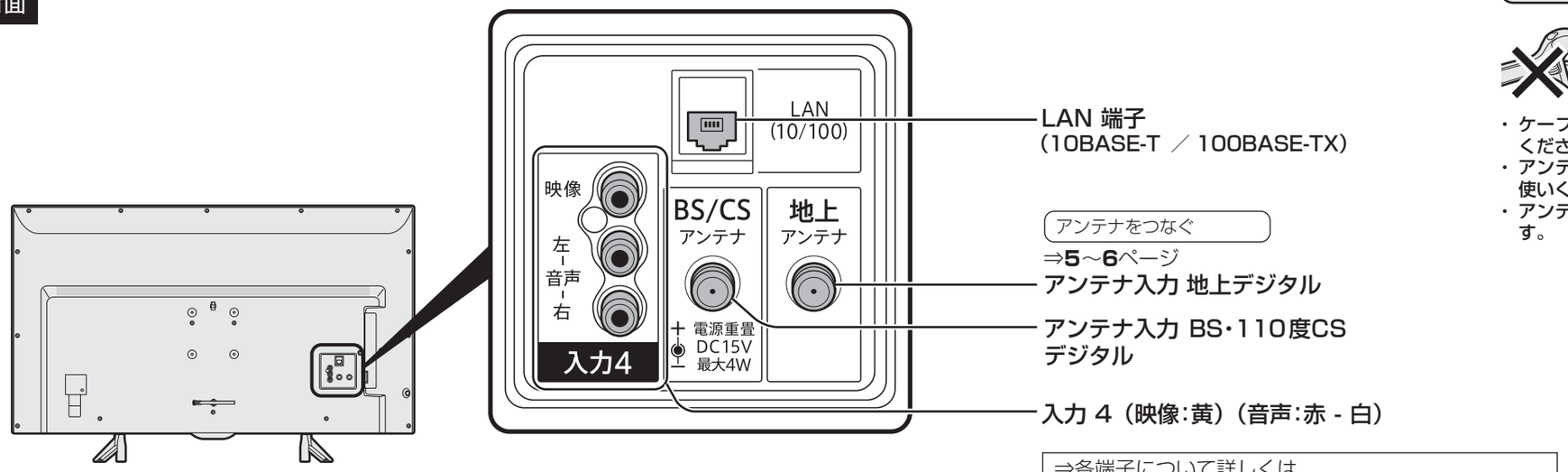
◇おしらせ◇

リモコン使用上のご注意
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号（⇒**「取扱説明書」（別冊）8・10** ページ）を設定する機能があるため、リモコンを付属している本機以外の AQUOS では正しく操作できない場合があります。
- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗する場合があります。
- 充電式電池（ニッケル水素など）は使用しないでください。誤動作することがあります。
- **リモコンの乾電池は6か月に一度、乾電池からの液漏れや変形などの異常がないかご確認ください。一度液漏れを起こしたリモコンは、正常に動作しない場合があります。**

4-1 アンテナをつなぐ

本体各部のなまえ

背面



LAN 端子
(10BASE-T ／ 100BASE-TX)

アンテナをつなぐ
⇒**5**～**6**ページ

アンテナ入力 地上デジタル

アンテナ入力 BS・110度CS
デジタル

入力 4（映像:黄）（音声:赤 - 白）

⇒各端子について詳しくは、
「取扱説明書」（別冊）9 ページをご覧ください。

⚠注意 接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

- ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。
- アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。
- アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

地上デジタル／BS・110度CSデジタル放送用アンテナとつなぐ

壁のアンテナ端子

アンテナ線を準備する

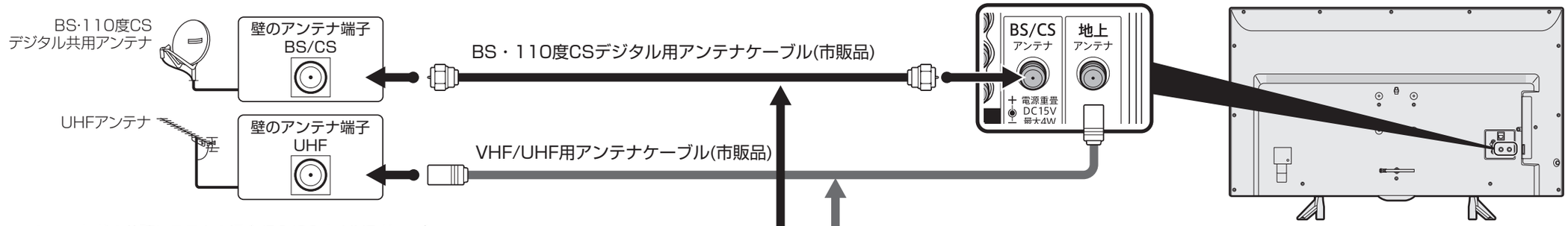
アンテナケーブルなどのご購入は、
販売店にご相談ください。

テレビにアンテナ線を接続する

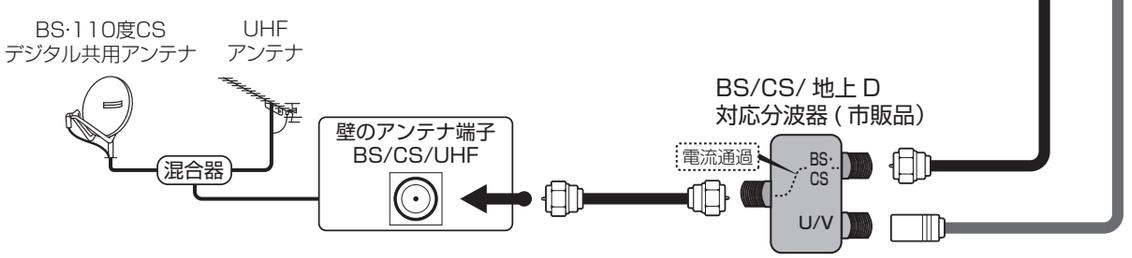
外部機器をテレビと接続する

アンテナ接続が済んだら HDMI ケーブルなど、テレビに接続します。⇒ 裏面7ページ

個別にUHFとBSアンテナを設置(BS/CSとUHFが別々)



マンションなどの共聴システムの場合(BS/CS と UHF が一つ)

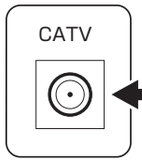


ケーブルテレビを見るときは(CATV受信機を接続するときは)

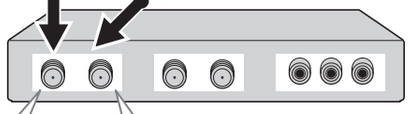
壁のアンテナ端子

アンテナ線を準備する

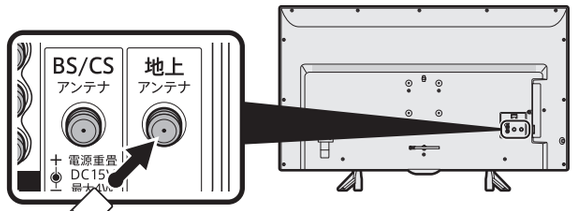
CATV 視聴環境



- 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。



テレビにアンテナ線を接続する



テレビの地上デジタルアンテナ入力へ

◇おしらせ◇

- **CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。**
- 本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13～C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23～C63）帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

デジタルチューナー搭載のレコーダーをつなぐときは

壁のアンテナ端子

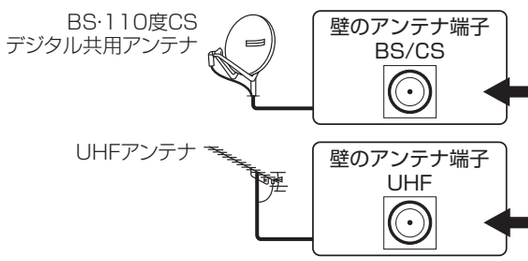
アンテナ線を準備する

テレビにアンテナ線を接続する

テレビのBS・110度CSアンテナ入力へ

テレビの地上デジタルアンテナ入力へ

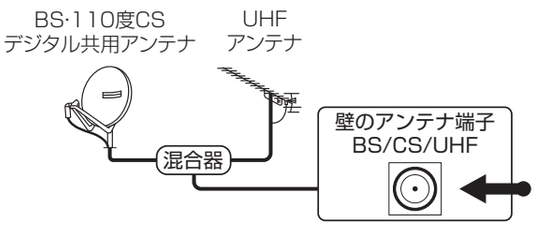
個別にUHFとBSアンテナを設置(BS/CSとUHFが別々)

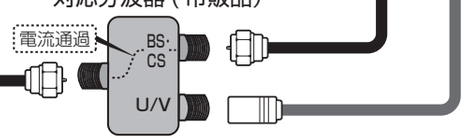


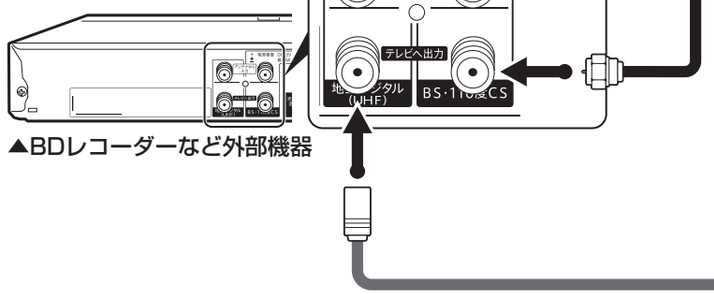
BS・110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)

VHF/UHF用アンテナケーブル(市販品)

マンションなどの共聴システムの場合(BS/CS と UHF が一つ)





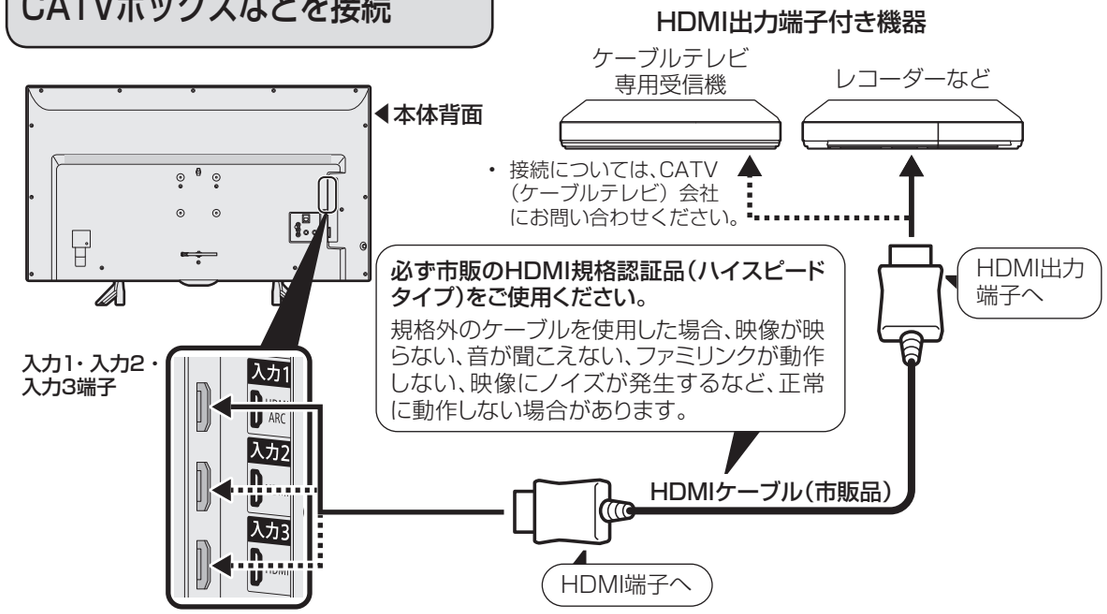


▲BDレコーダーなど外部機器

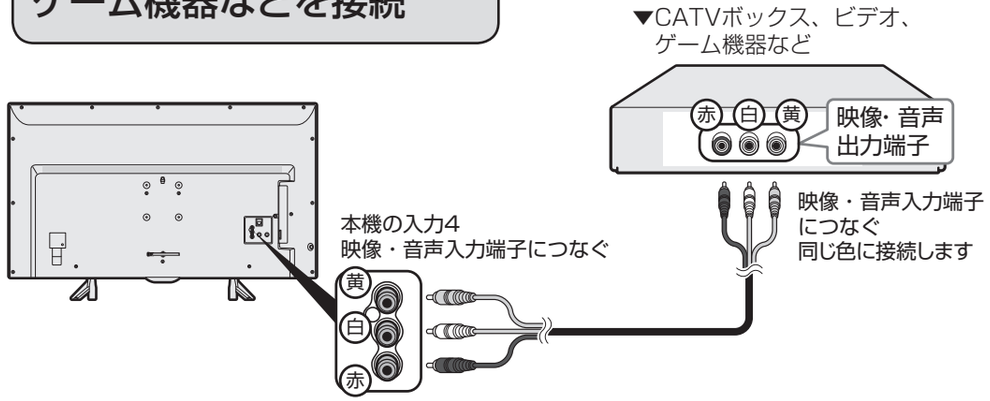
4-2 レコーダーなど外部機器とテレビを接続する

HDMI出力端子付きレコーダーやCATVボックスなどを接続

・アンテナ線の接続が済んだらHDMIケーブルでテレビと外部機器を接続します。



CATVボックスやビデオ、ゲーム機器などを接続



◇**おしらせ**◇

HDMIに対応している映像信号

・1080p（24Hz/30Hz/60Hz）、720p（30Hz/60Hz）、1080i、480p、480i、VGA

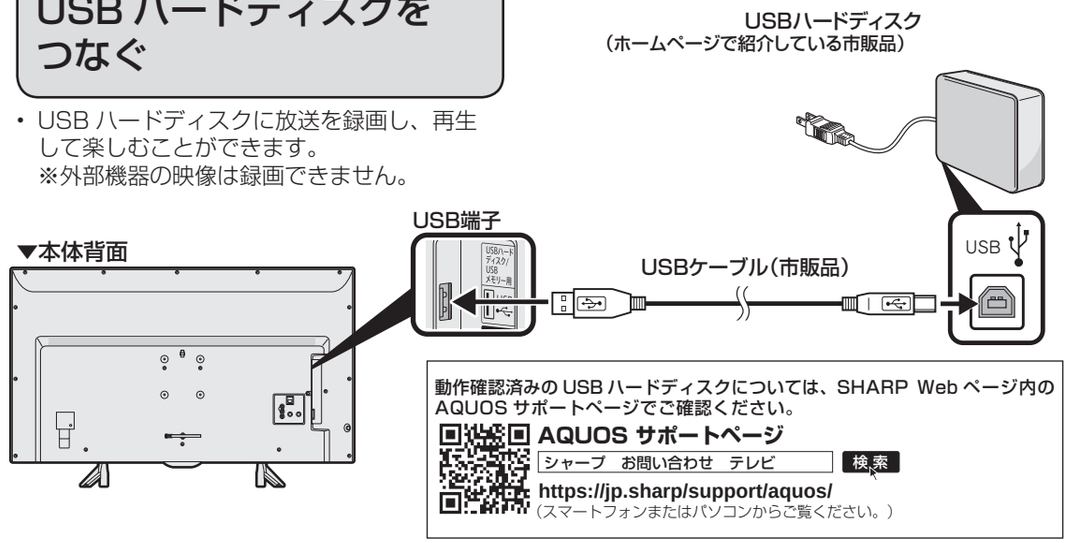
HDMIに対応している音声信号

・種類：リニアPCM（2ch）、AAC※
　サンプリング周波数：48kHz／44.1kHz／32kHz

※デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声（5.1チャンネルサラウンドなど）にも対応できる方式です。

USBハードディスクをつなぐ

・USBハードディスクに放送を録画し、再生して楽しむことができます。
※外部機器の映像は録画できません。



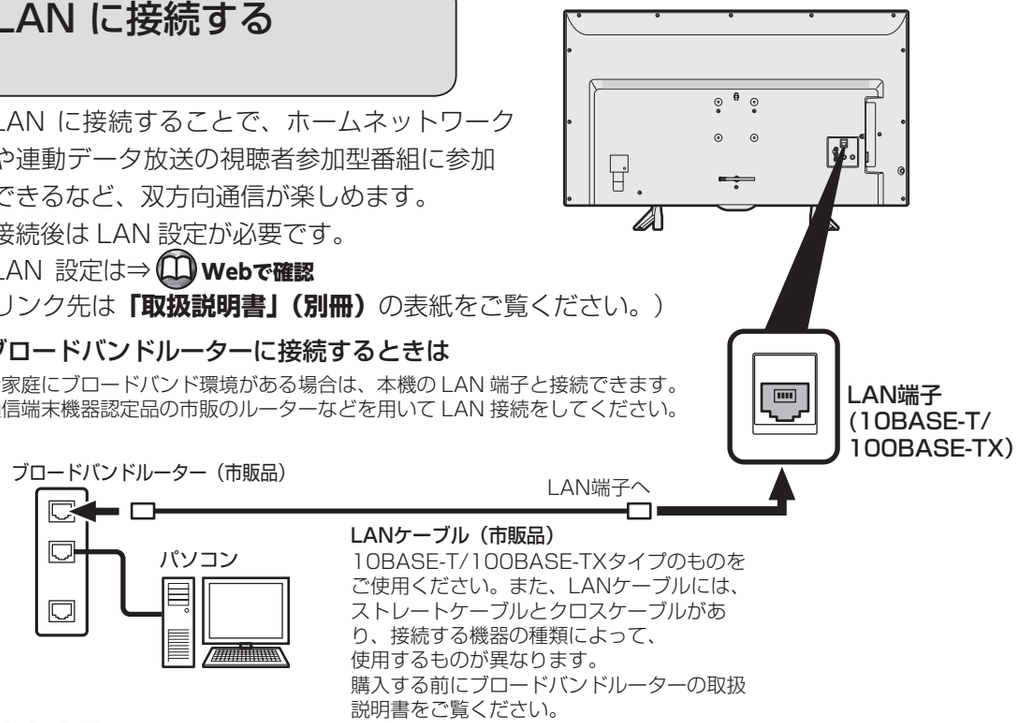
・USBハードディスクをお使いになるには、本機への登録（初期化）が必要です。
登録完了後は録画する機器として使用するための設定を行なってください。
設定方法は⇒**「取扱説明書」（別冊）40** ページ

LANに接続する

・LANに接続することで、ホームネットワークや連動データ放送の視聴者参加型番組に参加できるなど、双方向通信が楽しめます。
・接続後はLAN設定が必要です。
LAN 設定は⇒ **Webで確認**
（リンク先は**「取扱説明書」（別冊）**の表紙をご覧ください。）

ブロードバンドルーターに接続するときは

ご家庭にブロードバンド環境がある場合は、本機のLAN端子と接続できます。
通信端末機器認定品の市販のルーターなどを用いてLAN接続をしてください。



◇**おしらせ**◇

・本機には電話回線端子はありません。そのため、電話回線による双方向通信は利用できません。
・本機ではインターネットは利用できません。

5 miniB-CAS カードを挿入する

付属のminiB-CASカード

miniB-CAS カードの台紙

開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。
開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

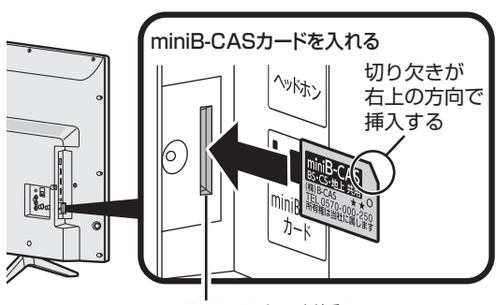
1 miniB-CASカード台紙の内容を読む

2 内容に同意の上でminiB-CASカードを台紙からはずす

3 miniB-CASカードを正しい向きでしっかり差し込む

⚠警告

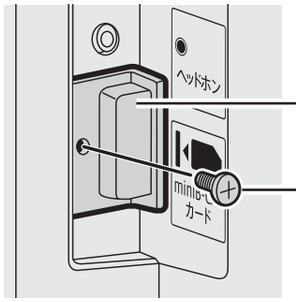
miniB-CASカードは幼児の手の届くところに放置しないでください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。



miniB-CASカード挿入口

・すべての接続を終えて電源を入れた後、「ホーム」−「設定」−「お知らせ」−「システム動作テスト」を行うと、カード番号が表示され、miniB-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

4 miniB-CASカード挿入口カバーを取り付ける



miniB-CAS(ビーキャス)カードを本機に必ず入れてください。
- miniB-CASカードを入れないと、デジタル放送(地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送)が映りません。
- miniB-CASカードには視聴情報などが記憶されます。
- miniB-CASカードの取り扱いについて詳しくは、miniB-CASカード台紙の説明をご覧ください。

miniB-CASカードの抜き差しについて
- miniB-CASカードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- miniB-CASカード挿入口には、本機に付属しているminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 万一、miniB-CASカードを抜く場合は、「電源ボタン設定」(⇒**13**ページ)を「モード2」に設定して本体の電源/操作ボタンで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、miniB-CASカードを持ち、ゆっくりと抜いてください。
- 幼児などの誤飲防止のため、miniB-CASカードは抜き取りにくくなっています。
  抜きとったminiB-CASカードは、幼児などの手の届かない所に置いてください。

miniB-CASカードは大切に保管してください。
- 仮に他人があなたのminiB-CASカードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

miniB-CAS カードの取り扱いについて
- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- 破損などにより miniB-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

miniB-CASカードについてのお問い合わせ先
B-CAS カード　カスタマーセンター
電話　0570-000-250
(2019 年 8 月現在)

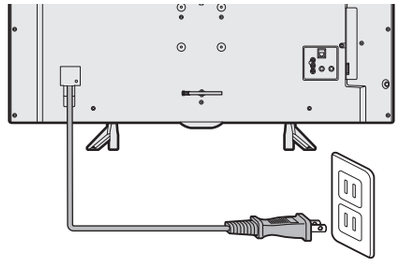
6 電源コードをつなぐ

⚠注意　接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

◆ 重 要 ◆
- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。(再設定できないものもあります。)
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

本体背面のケーブルバンドの形状をご確認の上、下記手順を行ってください。

背面の電源コードの電源プラグを、ご家庭のコンセントに接続する



・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

◆ 重 要 ◆
- 電源プラグを抜くときは、「電源ボタン設定」(⇒**13** ページ)を「モード 2」にしてから抜いてください。

録画予約設定時や録画中は本体の電源／操作ボタンで電源オフにしないでください
- 「電源ボタン設定」を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源／操作ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

消費電力について
- 本体の電源／操作ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

◇ おしらせ ◇
- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。)

7「かんたん初期設定」をする

・お買いあげ後、miniB-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときや、引っ越しなどで設定をやり直すときは

・ホームメニューからかんたん初期設定を行ってください。

選びかたは、**「取扱説明書」(別冊) 20** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

1 電源を入れる

電源コードのつなぎかた

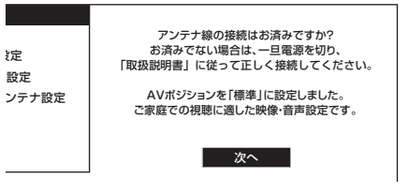
・⇒ **9**ページ

電源の入れかた

・本体背面の電源／操作ボタンを押すと、POWER/TIMER・REC(電源／タイマー・録画)ランプが緑色になり、電源が入ります。

電源を押す

2 メッセージを確認して決定する



・途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。

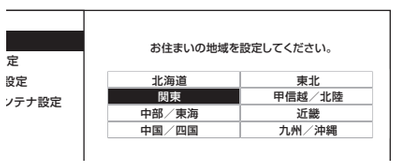
「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されたときは

・電源を切り、⇒**9**ページの手順に従ってminiB-CASカードを挿入してください。

「リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。」と表示されたときは

・「リモコン番号設定」(⇒**「取扱説明書」(別冊) 8・10 ページ**)を行ってください。

3 ①お住まいの地域を選ぶ



で選び 決定 を押す

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

◇ **おしらせ** ◇

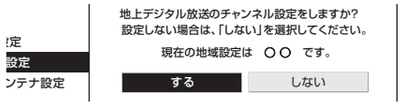
・設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

4 郵便番号を入力する

・「0」を入力するときは 10/0 を押します。

1 ～ 10/0 で入力し 決定 を押す

5 「する」を選ぶ

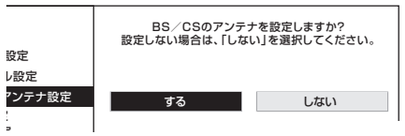


・チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
・チャンネル設定が終わると確認画面が出ます。「次へ」を押してください。

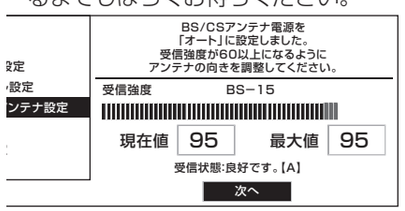
で選び 決定 を押す

6 「する」または「しない」を選ぶ

・BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、**次**ページの手順 **8** に進みます。



・「する」を選んだときは、「BS/CSアンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。



で選び 決定 を押す

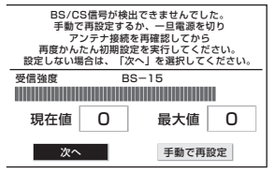
チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

・「電源ボタン設定」(⇒**13**ページ)を「モード2」に設定して本体の電源／操作ボタンでいったん電源を切ってUHFアンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

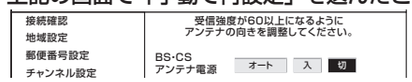
BS・CS アンテナを接続していないとき

・「次へ」を選び決定ボタンを押してください。

手順6で「する」を選んだあと、次の画面が表示されたときは

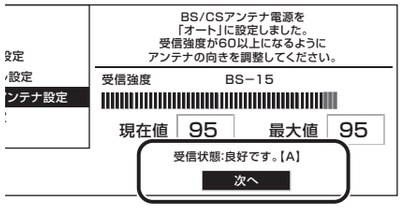


上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは



・左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、**次**ページの手順 **8** の画面が表示されます。

7 受信状態を確認して決定する



・「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは**次**ページの対処が必要です。

決定 を押す

BS・CS アンテナを接続しているとき

・「電源ボタン設定」(⇒**13**ページ)を「モード2」に設定して本体の電源／操作ボタンでいったん電源を切って、BS・110度CSデジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。(⇒**5**～**6**ページ)電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや、移転などで BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは

・⇒ **Webで確認**

(リンク先は **「取扱説明書」(別冊)** の表紙をご覧ください。)

「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	「電源ボタン設定」（⇒**右記**）を「モード 2」に設定して本体の電源／操作ボタンでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（⇒**5** ～ **6** ページ）

8 設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

で選び 決定 を押す

9 メッセージを確認して決定する

決定 を押す

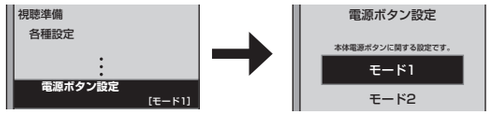
- これで設定は完了です。
- 映りかたを確かめましょう。
- 放送が受信できないときは
  ⇒**「取扱説明書」(別冊)51**ページ

電源ボタン設定と POWER/TIMER・REC（電源／タイマー・録画）ランプについて

- 本機は、予約録画やタイマー機能の失敗を防止するための「電源ボタン設定」があります。

モード1（初期設定）	本体の電源／操作ボタンで電源を切っても POWER/TIMER·REC（電源／タイマー·録画）ランプは消えません。赤色点灯（待機状態）となります。誤って本体の電源／操作ボタンで電源を切ってしまっても予約録画やタイマー録画が動作する設定となっております。予約録画やタイマー機能を使用する場合は「モード 1」の設定をおすすめします。
モード2	本体の電源／操作ボタンで電源を切ると POWER/TIMER·REC（電源／タイマー·録画）ランプ消えます。POWER/TIMER・REC（電源／タイマー·録画）ランプが消えた状態では、予約録画やタイマー機能は実行されません。「モード 2」で予約録画やタイマー機能を使用する場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。

- 電源ボタン設定は以下の手順で変更できます。
  ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「電源ボタン設定」で設定します。



無信号オフについて

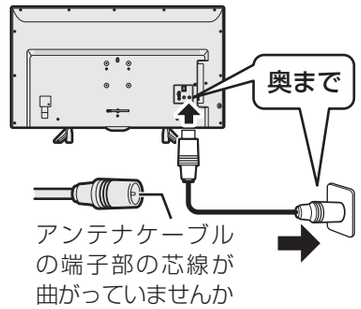
- 本機は、テレビ放送終了後など、番組が映らない状態になると約 15 分後に電源がオフになるよう設定されています。
  設定を解除する場合は、設定メニューの「（安心・省エネ）」－「無信号オフ」で「しない」に設定してください。

時計の表示について

- 常に時計を表示させる、または表示しないようにするには、「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「時計／画面表示設定」－「時計表示」で設定します。

アンテナの接続を確認

- 「地上デジタルアンテナ」と「BS・110 度 CS デジタルアンテナ」を間違えて接続していませんか。
- レコーダーなどを経由してテレビへアンテナ線を接続しているときはレコーダーなど外部機器の「アンテナから入力」と「テレビへ出力」を間違えて接続していませんか。
- アンテナケーブルの端子は奥まで確実に差し込まれていますか。



確認が済んだら再度「かんたん初期設定」を行ないます。

1 リモコンの「ホーム」ボタンを押しホームメニューを表示する

2 リモコンの「決定」ボタンを押し、設定を選び「決定」を押す

3 「（視聴準備）」－「かんたん初期設定」を選び「決定」を押す

4 「7 「かんたん初期設定」をする」(⇒11ページ)の手順に従って設定してください

BS・110 度 CS デジタル放送が映らない

- 個別にアンテナを接続している場合など、本機からアンテナへ電源を供給する必要があります。

① **ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ**
② **「アンテナ設定」を選ぶ**
③ **「電源・受信強度表示」を選ぶ**
④ **BS・CSアンテナ電源で、「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ**

- レコーダーなどを経由してアンテナを接続している場合に接続機器の電源を切ると BS・110 度デジタル放送が映らなくなるときは、接続している機器のアンテナ電源を「入」に設定してください。

レコーダーなど接続している機器の映像が見られない

リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください

- HDMI ケーブルなど接続しているケーブルが確実に差し込まれているか確認ください。

◇**おしらせ**◇
- 入力 4 の場合、BD レコーダー／プレーヤーによっては著作権保護技術（AACS）の規定により、BD ビデオ（市販のブルーレイソフト）再生映像が見られない場合があります。